

兵庫県芸術文化協会
(公財) 兵庫県芸術文化協会文化振興部
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町
1丁目5番7号 神戸情報文化ビル2F
Tel.078-321-2002
編集・発行人／谷口賢行
(公財) 兵庫県芸術文化協会理事長



公式SNS やっています！

462号
2025年
12月号



題字：井茂圭洞（書家・文化勲章受章者）

第31回

兵庫ふれあい美術展を開催



個性豊かな
力作ずらり！

兵庫県美術作家交流展

ジャンルを超えた作家同士の交流や技術の研さんを目的とした展覧会で、洋画・日本画・書・工芸・彫刻・写真の各分野で活躍する19名の作家による意欲的な作品が発表されます。併催の兵庫ふれあい美術展とあわせてお楽しみください。

- 会期 12月18日(木)～21日(日) 10時～17時(最終日は16時まで)
- 場所 原田の森ギャラリー本館 2階大展示室
- 入場料 無料
- 問い合わせ 当協会文化振興部 ☎078-321-2002



兵庫県立ピッコロ劇団第84回公演 ピッコロシアタープロデュース

シェイクスピア四大悲劇の一つ！ リア王

老いとは？ 血のつながりとは？ 生と死の狭間でさまよう私たちに答えはあるのか？

ピッコロ劇団員と関西俳優陣が総力を挙げてお届けするピッコロシアタープロデュース第17弾。読売演劇大賞最優秀演出家賞など数々の演劇賞に輝き、日本を代表する演出家のひとり松本祐子氏を迎え、シェイクスピア四大悲劇のひとつ「リア王」に挑みます。ぜひ、ご期待ください！

- 作 シェイクスピア ■翻訳 河合祥一郎(角川文庫『新訳リア王の悲劇』) ■演出 松本祐子(文学座)
- 出演 〈ピッコロ劇団〉孫 高宏、森 万紀、鈴木あぐり、有川理沙、浜崎大介、岡島大祐、吉村祐樹、三坂賢二郎、谷口 遼、森 好文、岡田 力、今仲ひろし、鈴木大輝 〈関西俳優陣〉や乃えいじ(PM/ 飛び教室)、萬谷真之、森本 遼、桑野颯太、清水聡之朗
- 日時 令和8年2月13日(金) 18時30分、14日(土) 11時・16時、15日(日) 11時・16時
- 場所 芸術文化センター 阪急 中ホール
- 入場料 〈全席指定〉一般4,500円、大学生・専門学校生3,000円、高校生以下2,500円
- チケット予約開始 12月21日(日)
- 問い合わせ ピッコロ劇団 ☎06-6426-8088 ※関連企画は3面参照

芸文センター 阪急中ホールで



松本祐子 (文学座)



孫 高宏



森 万紀



鈴木あぐり



有川理沙

ものがたり

ブリテンの王・リア (孫 高宏) は老いを迎え、3人の娘に領地を分け与えようとする。言葉巧みに愛を語る長女 (森 万紀) と次女 (鈴木あぐり) に対し、末娘コーディーリア (有川理沙) の誠実な沈黙を「不忠」と誤解し、彼女を勘当してしまう。やがて長女と次女は本性を現し、リアは国を追われて荒野をさまよひ、狂気の淵に追い込まれていく…。

令和7年度 伝統文化体験教室

『お箏のススメ』

日本独特の情緒を表現する伝統楽器・箏を広く体験していただく講座です。お箏の基本的な説明を聞き、実際に弾いてみましょう。素敵な音色が響いてきます。和の音色を楽しんでみませんか？

- 日時 令和8年2月28日(土) 13時30分～15時30分
- 場所 兵庫県公館103号室(神戸市中央区下山手通4-4-1)
- 講師 兵庫県箏絃連盟会員
- 定員 15名(先着順) ■参加費 無料
- 申し込み お申込みフォームまたは電話※二次元コードからお申込みできます。
- 問い合わせ 当協会文化振興部 ☎078-321-2002



申し込みはこちらから

ひょうごアーティストサロン ミュージアムコンサート

尾崎 夏子 マリンバコンサート



兵庫県にゆかりのある若手音楽家によるコンサートです。国内外で多数の受賞歴があり、現在、東京音楽大学研究生の尾崎夏子さんによる、豊かな音と響きと迫力のマリンバ演奏をぜひお楽しみください♪

- 日時 12月13日(土) 14時～14時30分
- 場所 横尾忠則現代美術館1階 オープンスタジオ
- 出演 マリンバ/尾崎 夏子 ■入場料 無料
- 問い合わせ 当協会文化振興部 ☎078-321-2002



12月の伝統文化、
地域の祭り・イベント

赤穂義士祭／12月14日(日) 10時～16時頃(予定)／赤穂城跡(赤穂市上飯屋1)ほか／赤穂義士たちが討ち入りを果たした日に開催される赤穂市最大のイベントで、今年は122回目。元禄絵巻さながらのパレード、忠臣蔵ゆかりの市町の特産品などが集まる物産市、露店販売が実施されます。義士行列には俳優の内藤剛志さんが大石内蔵助役で出演します。

令和7年度 兵庫県文化賞

【受賞者のご紹介】



いいむろ なおきさん (53)

マイム俳優＝渡仏してマイムやコンテンポラリーダンスを学ぶ。国内外で集団マイム劇を上演。ピッコロシアター演劇学校等の講師を務め、令和2年のパラリンピック開会式にも出演しました。



上田 拓司(うえだ・たくじ)さん (66)

能楽師＝観世流シテ方。幼稚園から老人大学までさまざまな形で能の普及に尽力。能楽協会神戸支部で常議員、支部長を歴任し、能楽の普及と発展に貢献しています。

北浦 洋子(きたうら・ようこ)さん (69)

ヴァイオリニスト＝西宮市少年少女合奏団団長を務めるほか、「アンサンブルレガーム」として定期的に演奏活動を展開。大阪音楽大学などで教鞭をとり、後進の指導・育成に貢献しています。



やなぎ みわさん (58)

美術家＝写真や映像による美術作品を発表し、ジェンダーや老いなど今日的な問題への鋭い批評性が国内外で評価される。近年は野外劇など舞台表現にも取り組み注目されています。



矢野 正浩(やの・ただひろ)さん (60)

指揮者＝フルート奏者として活躍後、阪神・淡路大震災の仮設住宅などでの慰問演奏を機に室内オーケストラ「アンサンブル神戸」を創設し、クラシック音楽文化の発展に貢献しています。

令和7年度 兵庫県芸術奨励賞

【受賞者のご紹介】



高木 日向子(たかぎ・ひなこ)さん (36)

作曲家＝作曲家として各種賞を受賞し、新進気鋭の音楽家たちによる「おとみらいHYOGO」の発起人として音楽文化の振興とネットワークづくりに貢献しています。



谷原 菜摘子(たにはら・なつこ)さん (36)

画家＝物語の中に投影された自画像を通し、暴力や差別、疫病といった社会問題、戦争などを寓意的に表現し、マンガからの影響を受けるなど、独創的な作品を制作しています。



皆川 隼人(みなかわ・はやと)さん (35)

チェロ奏者＝ニュルンベルク国立音楽大学に留学し、大阪音楽大学を優秀賞で卒業。リサイタルや弦楽四重奏公演のほか、ひょうごアーティストサロン事業にも協力しています。

令和7年度 地域文化功労者大臣表彰

【受賞者のご紹介】



天野 富美男(あまの・ふみお)さん (72)

美術家(高砂市)＝自己研さんの場として「高砂市教育美術展」を企画運営。日展特別会員で、骨太い具象絵画の創造を目標に活動するなど絵画の振興に貢献しています。



藪田 貫(やぶた・ゆたか)さん (77)

県立歴史博物館前館長(大阪府)＝国の文化財指定の審査に関わるなど文化財の保存活用に貢献。歴史文化遺産の着実な継承と兵庫の未来の架け橋となる博物館づくりに尽力されました。



尾崎獅子舞保存会(おさきししまいほぞんかい) (赤穂市)

県指定無形民俗文化財の保存と継承に尽力するとともに、長きにわたり赤穂八幡宮獅子舞の伝統を守り、日本遺産の構成文化財になるなど、地域文化の発信に貢献しています。

※上記各賞は、50音順(個人・団体別)、年齢は表彰期日時点

令和7年度 ともしびの賞

【受賞者のご紹介】(敬称略)

神戸＝津村 克子(絵画)、花柳 伊奈輔(日本舞踊)、濱崎 加代子(声楽)

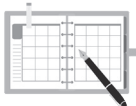
阪神南＝壽 文寿(落語)、森岡 秀人(考古学研究)

阪神北＝宝塚だんじり連合保存会(民俗芸能)、森田 耕山(音楽)

東播磨＝喜舎場 武司(文芸)、高砂市ため池協議会(自然保護)

催物情報

イベントガイド



ひょうごアーティストサロン

※入場無料

☎078-321-2005



▶「兵庫県書作家協会選抜展」〈サロン内ギャラリー〉 12月1日(月)～2026年1月31日(土)
兵庫県書作家協会会員6人による作品6点を展示

※水・土・日・12月1日(月)・9日(火)・29日(月)から1月3日(土)、12日(月)、27日(火)は休室
1月14日(火)・31日(土)は開室

原田の森ギャラリー

※入場無料

☎078-801-1591



- ▶現代童画会'25 関西展 併催：関西支部展〈本館1階〉
絵画・工芸・デザイン約160点 12月3日(水)～7日(日)
- ▶創元会兵庫作家展〈東館1階〉 油彩・水彩・アクリル約50点 12月3日(水)～7日(日)
- ▶創作 ORIGAMI 展〈東館2階〉 おりがみ約100点 12月3日(水)～7日(日)
- ▶第10回 New 飛鶴展〈本館2階〉 書約90点 12月5日(金)～7日(日)
- ▶第77回 正筆展 併催：第17回 暢心展〈全館〉 書約600点 12月13日(土)～14日(日)
- ▶第102回 弦月会展〈東館1・2階〉 油彩・アクリル約43点 12月16日(火)～21日(日)
- ▶2025年度 ビエンナーレ武蔵美 HYOGO〈本館1階〉
絵画・写真・工芸ほか約85点 12月17日(水)～21日(日)
- ▶第31回 兵庫ふれあい美術展 併催：兵庫県美術作家交流展〈本館2階〉
書・絵画・写真・工芸ほか約260点 12月18日(木)～21日(日)
- ▶第12回 白洋会展〈東館1階〉 油彩・水彩・日本画約30点 12月23日(火)～28日(日)
- ▶第16回 娯憚文会展〈本館1階〉 書・篆刻約100点 12月26日(金)～28日(日)
- ▶可能性のとびら〈障害者アートギャラリー〉
ペーパークイリング・パステル画・デジタルアートほか約40点 ～12月28日(日)

プレゼントの ご応募について



①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は
会員番号 ⑥ご意見・ご感想を明記し、ハガキかFAXで送付。

※応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
※応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会が厳重に管理し、
プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル2階
(公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139

記載の【友の会割引あり】は、原則として兵庫県芸術文化協会友の会会員、ご本人様のみ適用

横尾忠則現代美術館

☎078-855-5607



▶復活！横尾忠則の觸腰まつり ～12月28日(日)
觸腰をモチーフに、横尾作品にひそむ死の影を考察。2020年にコロナ禍で中止になった「横尾忠則の觸腰まつり」を再構成し、生と死が共存する新たな祝祭的風景を届けます。
※観覧料800円ほか【友の会割引あり】

▶ひょうごアーティストサロン ミュージアムコンサート 〈1階オープンスタジオ〉※入場無料
尾崎 夏子 マリンバコンサート 12月13日(土)14時～14時30分
【お問い合わせ】(公財)兵庫県芸術文化協会☎078-321-2002

兵庫陶芸美術館

☎079-597-3961



▶特別展「丹波焼の美ー田中寛コレクションを中心としてー」
12月6日(土)～2026年2月23日(月・祝)
開館20周年を記念し、当館コレクションの母胎である田中寛コレクションを中心に平安時代末期に誕生して発展を遂げた丹波焼の歩みを紹介し、その魅力に迫ります。
※観覧料700円ほか【友の会割引あり】



5組10人にチケットプレゼント。締切12月18日(木)必着

宝塚文化創造館 すみれ♪ミュージアム

☎0797-87-1136



▶2025年企画展 宝塚歌劇の設計図2～台本に込める想い～ ～2026年4月12日(日)
総合芸術の最高峰にある宝塚歌劇の世界はどのように創られていくのか。舞台を形成する設計図と言える「台本」「衣装デザイン」などを通して作品に込められた想いを紹介します。
※入場料300円ほか【友の会割引あり】



5組10人にチケットプレゼント。締切12月18日(木)必着

兵庫県立芸術文化センター

【申込み・問い合わせ】☎0798-68-0255 10時～17時・月曜休み ※祝日の場合翌日

<https://www.gcenter-hyogo.jp>アクセス▶■阪急西宮北口駅南改札口スグ（連絡デッキで直結）
■JR 西宮駅より徒歩約15分（阪急バス7分）

チケット発売中

宮川彬良&アンサンブル・ベガ ニューイヤー・コンサート2026

天才作曲家・宮川彬良とオーケストラ奏者の職人たちが真摯に音楽をお届けする宮川彬良&アンサンブル・ベガ。ここ芸術文化センターでのニューイヤー・コンサートは、今や新春の風物詩です。今年はスペシャルゲストに、「動物のものまね芸」として知られる演芸家の五代目 江戸家猫八をお迎えし、名人芸×音楽の饗宴をお届けします！アンコール「マツケンサンバⅡ」まで、ぜひお聴き逃しなく！

【日時】2026年1月14日(火) 14時【場所】芸術文化センター KOBELCO 大ホール

【入場料】〈全席指定〉A 席3,000円、B 席1,000円



宮川彬良 & アンサンブル・ベガ



五代目 江戸家猫八

チケット発売中

プロムナード・コンサート

前橋汀子&弦楽アンサンブル ニューイヤー・コンサート

日本が誇る名ヴァイオリニスト、前橋汀子。優雅でありながら情熱的な演奏スタイルで、多くの聴衆を魅了してきました。前橋自らが厳選した総勢10名のストリングスメンバーとともに、ヴィヴァルディの「四季」をはじめ、珠玉の名曲の数々をお贈りします。優美で瑞々しい贅沢な音楽の時間をお楽しみください。

【出演】前橋汀子&弦楽アンサンブル

【日時】2026年1月18日(日) 14時

【場所】芸術文化センター KOBELCO 大ホール

【入場料】〈全席指定〉A 席3,000円、B 席1,000円

2023年1月、KOBELCO
大ホール公演から

前橋汀子

チケット発売中

飛び立つ前に

橋爪功が演じる、人生の終幕に見える風景と情熱——話題作がついに日本初演！“老い・愛・別れ”——かけがえのない時間と記憶を描く家族劇。身近なテーマをミステリアスで繊細な心理劇として描き、どこにでもいる家族の物語だけでは終わらない、フロリアン・ゼレールによる唯一無二の世界観。観る人の数だけ受け止め方がある本作をぜひ劇場でご覧ください。

【作】フロリアン・ゼレール 【翻訳】齋藤敦子

【演出】ラディスラス・ショラー

【出演】橋爪 功、若村麻由美、奥貫 薫、前田敦子、岡本圭人、剣 幸

【日時】12月26日(金)、27日(土)、28日(日) 各日14時

【場所】芸術文化センター 阪急 中ホール

【入場料】〈全席指定〉11,000円



橋爪 功



若村麻由美

ピッコロシアター・兵庫県立ピッコロ劇団

【申込み・問い合わせ】☎06-6426-1940 9時～21時・月曜休み※祝日の場合翌日

<https://piccolo-theater.jp>アクセス▶■JR 宝塚線塚口駅西出口より、西へ徒歩約5分
■阪急神戸線塚口駅南出口より、南東徒歩約10分兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます
(本人のみ、事前予約・要会員証)

チケット発売中

兵庫県立ピッコロ劇団 ファミリー劇場

タラレバ幽霊とタカラの山

6年1組石原学級のクラスメイトと花火大会の準備をしていたショウ(谷口 遼)。幼馴染のリン(今井佐知子)、転入してきたばかりのナオ(有川理沙)、そのナオのことが好きなトウヤ(吉村祐樹)、そこにアメリカに転校したはずのエツロウ(岡田 力)も加わって、夜の学校で肝だめしをすることになった。そこで不思議な女の子、京子(鈴木あぐり)と出会う。50年前からタイムスリップしてきた京子は、「タラレバ幽霊」になった石原多佳子先生(吉江麻樹)のお母さんだった。

【台本】谷口雅美・原 竹志(ピッコロ劇団) 【演出】原 竹志(ピッコロ劇団)

【日時】12月20日(土) 15時★、21日(日) 11時★／15時

【場所】芸術文化センター 阪急 中ホール

【入場料】〈全席指定〉一般3,000円、高校生以下1,500円、セット券(一般+高校生以下)4,000円 ※3歳以上有料。3歳未満でもお席が必要な場合は有料
★…音声ガイドサービスあり(要事前申込) ※会場はピッコロシアターではありませんピッコロシアター文化セミナーラボ〈10〉
レクチャー&トークセッション

シェイクスピア『リア王』を読み解く

【講師】栗山智成(京都大学教授)

【ゲスト】松本祐子(文学座)、孫 高宏(ピッコロ劇団)

【日時】2026年1月22日(木) 10時30分～12時

【場所】ピッコロシアター小ホール 【入場料】無料(要申込)

【受付開始】12月9日(火) ※ピッコロ劇団第84回公演「リア王」の詳細は1面参照

2026ピッコロ寄席

桂米團治独演会

【演目・出演】(出演順)

「動物園」桂米舞、「桃太郎」桂米團治

「カフェ役者」桂米輝、「どうらんの幸助」桂米團治

～中入～

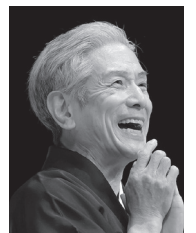
「(当日のお楽しみ)」露の紫、「親子茶屋」桂米團治

【日時】2026年2月8日(日) 14時

【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】〈全席指定〉一般3,000円、高校生以下1,500円

【発売日】12月18日(木)



桂米團治



〈ゲスト〉露の紫

深山龍洞師、他約300点を出品いたします。
何卒ご高覧の上、ご指導賜りますよう
ご案内申し上げます。

主催：一先会 理事長：横山煌平

後援 兵庫県・兵庫県議会・兵庫県教育委員会・
(公財)兵庫県芸術文化協会・神戸市・神戸市議会・
神戸市教育委員会・神戸新聞社・読売新聞神戸総局

併催：第23回全国学生書道展

令和 8 年 1 月 16 日(金) ～ 18 日(日)

10:00 ～ 17:00 (最終日は16:00まで)

兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー

第25回
一先会書展

— 自然の風韻を求めて —

これであなたもヨコオ博士!?

「大横尾辞苑」を開催

Yoko Tadanori Museum of Contemporary Art
Y+T MOCA
横尾忠則現代美術館《三島由紀夫とR.ワーグナーの肖像》
1983年 横尾忠則現代美術館蔵

横尾忠則現代美術館は、横尾作品の世界を辞書仕立てで解説する展覧会「大横尾辞苑」を、令和8年1月31日から同館で開催します。

ひらがなの45文字、アルファベット26文字に準じた用語にちなんだ横尾の作品や資料など約130点を出品。横尾の人生を彩るエピソードや、交友関係を反映した作品、科学のみでは捉えきれない精神世界、死の問題に関するものも数多く収録しています。「アストラル体」や「原郷の森」など用語の意味をひも解きながら、関連する横尾作品を深掘りしてみませんか。

■会期 令和8年1月31日(土)～5月6日(水・振休) 10時～18時

■休館 月曜日 ※2月23日(月・祝)、5月4日(月・祝)は開館、2月24日(火)は休館

■場所 横尾忠則現代美術館

■観覧料 一般800(600)円、大学生600(450)円、70歳以上400(300)円、高校生以下無料

※()内は20人以上の団体割引料金【友の会割引あり】

■問い合わせ 横尾忠則現代美術館 ☎078-855-5607

【キュレーターズ・トーク】〈講師〉横尾忠則現代美術館学芸員 〈日時〉2月8日(日)、3月8日(日)、4月18日(土)
※いずれも14時～14時45分 〈場所〉横尾忠則現代美術館オープンスタジオ 〈参加費〉無料



読者プレゼント

大横尾辞苑の招待券を抽選で5組10人に。
応募方法は本紙2面。12月18日(木)必着。

芦屋市立美術博物館の外観



芦屋市南部の住宅地に、斬新なデザインが目を引く芦屋市立美術博物館があります。2階建ての横長で、中央は吹き抜けの円形ホール、2階のホワイエの大きな半円形のガラス窓が特徴的です。

開館は1991(平成3)年。戦前の1940(昭和15)年に誕生した芦屋市の市制50周年記念事業として開館した、美術部門と歴史部門を併せた複合施設です。芦屋ゆかりの芸術家の作品を中心に鑑賞でき、芦屋の自然や歴史を学べる場となることを目指しています。

収蔵品は、美術関連が絵画を中心に約1500点、歴史関連が約500点。年に4回ほどテーマを決めた特別展が開催され、その都度観覧料は異なります。また、2年に1度開かれる公募展の芦屋市展など、無料の展覧会もあります。

展示室は2階に2室、1階には常設展示の歴史資料展示室があります。歴史資料展示室では、弥生時代の会下山遺跡、芦屋廃寺跡など古代からの芦屋の歴史が資料とともに紹介されています。

美術作品収集の主な対象は芦屋にゆかりのある芸術家たちです。1926(大正15)年に、芦屋に居を構えた日本を代表する洋画家の小出櫓重(1887～1931)と、交流のあった画家や、1930(昭和5)



吹き抜けのホール

美人画の浮世絵コレクション展を開催

★おすすめスポット★
たずね歩き

芦屋市立美術博物館 芦屋ゆかりの芸術家たち 戦前、戦後に花開く

年に芦屋カメラクラブを結成し新興写真運動を展開した中山岩太、ハナヤ勘兵衛ら写真家の作品も収蔵しています。

また、戦後の芦屋では1954(昭和29)年に具体美術協会「具体」が結成されました。代表の吉原治良(1905～1972)をはじめ、嶋本昭三、山崎つる

子、正延正俊ら創立メンバーに加え、後に合流する白髪一雄、元永定正ら関西の若手作家たちが先鋭的な表現を果敢に追求しました。館では「具体」の18年間の活動に焦点を当てた展覧会を開いています。

12月6日から2月8日までは、浮世絵約100点を展示する「徹底解剖! 浮世絵で見る江戸のライフスタイル」が開かれます。大正時代、芦屋に在住していた商社員の片岡長四郎氏が海外で収集し、美術博物館に寄託した美人画コレクションによる展覧会です。

江戸後期の文化文政年間から幕末にかけて活躍した歌川国貞、溪斎英泉、長谷川貞信や明治期の月岡芳年らの作品について、担当学芸員は「国貞が描く美人は勝ち気で健康的、英泉の美人は儂げと、違いを見比べるのもおもしろいです」と話します。美人とともに描かれた衣服や髪型、障子やふすま、うちわ、硯箱、三味線、琴、化粧筆などの品々も見どころです。

小出櫓重のアトリエを復元

敷地内の庭の一角に、復元された小出櫓重のア

歌川国貞「当世好すがたのあつらへ 柳楼小唄」
慶応3年(1867) 個人蔵

おでかけ ちょっとメモ

▶ 芦屋市立美術博物館 = 芦屋市伊勢町12-25。開館時間は10時～17時(入館は16時半まで)。休館は月曜(祝日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始(12月28日～1月5日)、展示替え期間中。観覧料は展覧会により異なる。「徹底解剖! 浮世絵で見る江戸のライフスタイル」は一般1,000円(800円)、大生600円、中学生以下無料。()内は当協会友の会料金。阪神芦屋駅から徒歩約15分。阪神芦屋・JR芦屋・阪急芦屋川の各駅から阪急バスに乗車、緑町(美術博物館前)停留所下車、徒歩約3分。☎0797-38-5432

トリエがあります。小出は43歳で急逝するまでの5年間の芦屋暮らしで、裸婦像に代表される名作の数々を描きました。木立に囲まれた建物内にはテーブルやソファ、愛用の画材などが展示され、開館中は無料で見られます。



小出櫓重アトリエ



読者プレゼント

特別展「徹底解剖! 浮世絵で見る江戸のライフスタイル」の招待券を抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。12月18日(木)必着。

ワンランク上の
プレミア・
プログラム

兵庫でサステナブル体験!
ひょうごフィールドパビリオン



丹波 里山の酒蔵・
西山酒造場で丹波を味わい、発酵を学ぶ

◎蔵元や高浜虚子が詠んだ俳句が彫られた句碑を巡る酒蔵見学
◎利き酒講座、日本酒の飲み比べ
◎丹波の食材と発酵食品を使用した料理を丹波焼で味わうフルコース など

ひょうごフィールドパビリオン
Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs